

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 (仮称)シニアマンションまちなか米子式号館

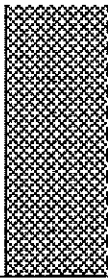
■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

欄にコメントを記入

スコアシート

実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
◎ 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境			0.40			3.4
1 音環境		3.0	0.15	2.8	1.00	2.8
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.6	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				5.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		2.6	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温設定		3.0	0.63	3.0	0.63	
3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.38	
4 ゾーン別制御性						
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.3	0.25	3.8	1.00	3.7
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口					0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	4.0	0.30	
2 昼光制御		4.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.4 照明制御		3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境		4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御						
Q2 サービス性能			0.30			2.9
1 機能性		3.8	0.40	2.4	1.00	2.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	1.0	0.60	
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応				1.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.40	4.5	0.40	
1 広さ感・景観				4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画		5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理						
1 維持管理に配慮した設計						
2 維持管理用機能の確保						
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			

	1	耐震性	3.0	0.80		-	
	2	免震・制振性能	3.0	0.20		-	
	2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33		-	
	1	躯体材料の耐用年数	3.0	0.23		-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.23		-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	4.0	0.09		-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	4.0	0.08		-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.15		-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.23		-	

2.4 信頼性		2.4	-	-	-
1	空調・換気設備	3.0	0.19	-	-
2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-
3	電気設備	1.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法	1.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備	4.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性		3.1	0.29	3.8	1.00 3.7
3.1 空間のゆとり		-	-	4.6	0.50
1	階高のゆとり	-	-	5.0	0.60
2	空間の形状・自由さ	-	-	4.0	0.40
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50
3.3 設備の更新性		3.1	1.00	-	-
1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性	4.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-
G3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	3.8
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		5.0	0.40	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.30	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	4.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	4.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	3.6
LR1 エネルギー		-	0.40	-	4.3
1 建物の熱負荷抑制		5.0	0.40	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.5	0.20	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用	4.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		4.0	0.40	-	4.0
4 効率的運用		-	-	-	-
4.1	モニタリング	-	-	-	-
4.2	運用管理体制	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	3.2
1 水資源保護		3.4	0.15	-	3.4
1.1	節水	4.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用	3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減		3.0	0.63	-	2.8
2.1	材料使用量の削減	3.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.25	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.21	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.21	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	4.0	0.25	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避		4.3	0.22	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.32	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避	5.0	0.68	-	-
1	消火剤	-	-	-	-
2	断熱材	5.0	1.00	-	-
3	冷媒	-	-	-	-
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		3.3	0.33	-	3.3
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	-	2.5
2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.50	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.3	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減	-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制	5.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-
1	騒音	3.0	0.33	-	-

	2	振動	3.0	0.33		-
	3	悪臭	3.0	0.33		-
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40		-
	1	風害の抑制	3.0	0.70		-
	2	日照障害の抑制	3.0	0.30		-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70		-
	2	屋光の建物外壁による反射光(glare)への対策	3.0	0.30		-